

1 請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、604件（146種類）であり、このうち件数の多かったものは、「後期高齢者医療制度を速やかに廃止し、高齢者・国民が望む医療制度を目指すことに関する請願」26件、「国・自治体の責任ですべての子供により良い保育の保障と子育て支援を求めることに関する請願」19件、「性的搾取を許さない、女性の人権確立を目指す法制定に関する請願」13件、「消費税の増税反対、緊急に暮らしにかかる消費税を減税することに関する請願」13件、「裁判所の人的・物的充実に関する請願」13件などであった。

各委員会の付託件数は、内閣8件、法務64件、外交防衛38件、財政金融98件、文教科学27件、厚生労働279件、農林水産8件、経済産業39件、国土交通14件、環境15件、議院運営12件、沖縄・北方1件、倫理選挙1件であった。

請願者の総数は672万8,310人に上っている。

請願書の紹介提出期限は、11月22日の議院運営委員会理事会において、会期7日前の11月26日までと決定された。

12月3日、各委員会において請願の審査が行われ、2委員会において23件（4種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで同日の本会議において「腎疾患総合対策の早期確立に関する請願」外22件が採択され、即日これを内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は3.8%であり、種類別による採択率は（採択数／付託数）は2.7%であった。